

# 月刊 さいとう 健けん

2010年10月号

## 危機管理の危機



製造業経営のエース来る!!

さいとう健 vs 酒巻久  
「生対談」復活!!

※詳しくは中面をご覧下さい。



**ミニプロフィール**

昭和34年 小さな写真屋に生まれる。  
大学生時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。  
零細企業に育ったこともあり、中小企業行政を担当する通商産業省に入省。  
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。  
平成18年 衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。  
平成21年 衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。  
党環境部会長を経て、現在、政務調査会事務局長。

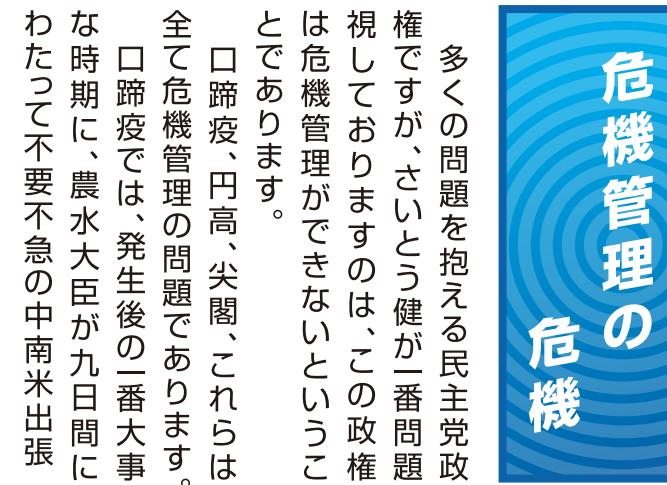
開設セイとう健  
QRコード

さいとう健事務所では、活動のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。  
ミニ集会の開催、ビラ配布作業、ポスター掲示などご協力が可能な方は、下記の連絡先までご連絡を下さい。お待ちしております。

討論資料

さいとう 健後援会事務所  
(千葉銀行おおたかの森支店裏)

〒270-0137 千葉県流山市市野谷665-40-103  
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224  
e-mail:info@saito-ken.jp



多くの問題を抱える民主党政権ですが、さいとう健が一番問題視しておりますのは、この政権は危機管理ができないということがあります。

口蹄疫、円高、尖閣、これらは全て危機管理の問題であります。

口蹄疫では、発生後の一番大事な時期に、農水大臣が九日間にわたって不要不急の中南米出張

に出かけ、三十万頭の殺処分と いう被害の拡大をもたらしました。

自民党政権の下で口蹄疫の発 生を確認した二〇〇〇年には、迅速な政治主導により、宮崎県では三五頭、北海道では七〇五頭の殺処分で食い止めました。事実だけ申上げておきます。

印度洋の給油・給水活動か ら撤退し、普天間では迷走し、トラストミーと言ってオバマ大統領の顔に泥を塗るということを続けておいて、円高では日本を助けてくださいと言つても、アメリカが聞く耳を持たないのは当然ではないでしょうか。この一年の対米政策の失策の付けが回ってきたという感じです。

この水準の円高が続けば、日本企業の海外生産への移行が続 き、国内の雇用はどんどんと失われます。円高が民主党の代表選の最中に進行していくこと は記憶に新しいところです。